

氏 名：櫻井 佐知子

学 位 の 種 類：博士（看護学）

学 位 記 番 号：甲第 242 号

学位授与年月日：2024 年 3 月 8 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 大田 えりか（聖路加国際大学 教授）

副査 堀内 成子（聖路加国際大学 教授）

副査 糟谷 知香江（聖路加国際大学 教授）

副査 江藤 宏美（長崎大学 教授）

論 文 題 目：Effect of Prenatal Group Education Program Focused on  
Preeclampsia/Eclampsia in Tanzania: A Quasi-experimental Study

#### 博士論文審査結果

本学位論文は、タンザニアの妊娠中の女性を対象として、妊娠高血圧腎症/子癇に焦点を当てた産前教育プログラムの介入の効果を明らかにすることを目的とした準実験研究である。主要なアウトカムは知識であり、副次的なアウトカムとして、計画的行動理論スコア、妊娠関連エンパワーメントスケール、満足度、妊娠高血圧腎症の発生率であった。タンザニアの 2 つの地区病院で、並行するコントロール群を用いた施設ベースの前後準実験デザインを用いた。介入群は、開発された教育ツール（イラストとピクトグラムを使用したパワーポイントと図解カード）、動画、ゲームを含む妊娠高血圧腎症/子癇に焦点を当てた助産師主導の産前教育プログラムに参加した。プログラムは講義、共有、レビューセッションで構成された。コントロール群は、通常のケアを受けた。データは、実施前と 1 か月後に行われた質問票を通じて収集された。この研究では、妊娠中の女性、介入群（ $n = 48$ ）、コントロール群（ $n = 47$ ）の 95 名が分析された。主要アウトカムである介入群とコントロール群の知識スコアの較差（事前テストと 1 か月後）は統計学的に有意な差があった（介入群：平均 = 3.83（SD : 3.65）、コントロール群：平均 = -0.81（SD : 3.11）（ $p < .001$ ）。副次的アウトカムでは、満足度スコアが介入群で高かったが、他の指標に大きな差は見られなかった。

審査では以下の点が指摘された

1. Teach back technique に関する詳細の追加、
2. 内容妥当性についての修正、
3. Lost to follow up の取り扱い、
4. 宗教の違いの影響についての追加、
5. 重回帰分析の詳細の加筆、
6. RA の教育の加筆、
7. UMIN 登録の記載、
8. 妊娠高血圧腎症の発症率についての加筆、
9. Dropout のフォローについて、
10. その他のマイナーな修正点

審査で指摘されたコメントには、すべて解答し、修正・加筆を審査員全員で確認した。櫻井氏は、タンザニアで約 1 年間の病院助産師ボランティア経験を有し、予備研究として妊娠高血圧腎症妊婦の体験のスコーピングレビュー、妊娠高血圧腎症で入院した女性 14 名の経験を質的研究として英文公表し、本研究に至っている。本研究は、タンザニアの妊娠中の女性に合わせた特別な介入プログラムを開発し、実施した。結果として、介入群の妊娠高血圧腎症に関する知識と満足度が向上し、この効果は約 1 ヶ月維持された。プログラムは新規性および介入の効果があり、妊産婦の健康改善に貢献すると考えられる。

以上により、本論文は、本学学位規程第 5 条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。